

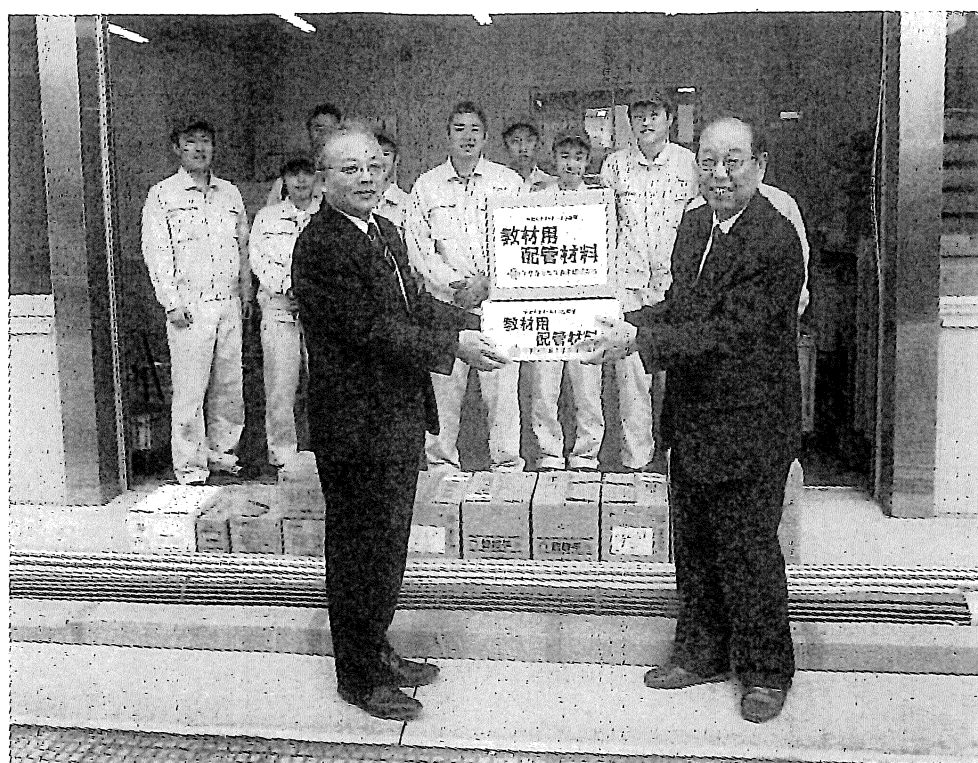
宇都宮市管工事業協同組合

宇工高に実習資材を寄贈

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長）は18日、県立宇都宮工業高校に建築配管技能検定などの実習用資材約50万円相当を寄贈した。和田理事長、川中子武保専務理事らが訪れ、小林綱芳校長に資材を手渡した。

宇管工では、高校生の技能向上を図るため毎年管材や管継手など実習用資材一式を寄付。資材は2、3級技能試験を受験する生徒の実習で活躍。今年は2、3年生15人が受験。また環境設備科から3人が技能五輪の配管部門に挑戦した。

資材は技能検定をはじめ、ものづくりの体験を通じて、将来の地元技術者としての育成に活用される。



実習資材を手渡す和田理事長（右）